



## Plauener Spitze®の所在地と生産地

Modespitze GmbH - Spilzen & Slickereien - Plauener Spitze®

Modespitze Plauen 有限会社は、伝統的な家族経営かつ商標の共同所有者として4代に渡り高級レースと刺繍を生産してきました。すべての製品は、プラウエン工場でのみ企画し、刺繍し、編み上げ、製品化しています。すべての刺繍は、どの製品も3段階のQC（品質検査）を行っています。品質にきびしい内外の顧客のために特別な選別し高価格なコレクションがあります。家庭用の繊維製品では、テーブルクロスやカーテンが重点とされてます。**伝統的にマイセン陶器の敷物に使われております。**現在のカatalogにも載っています。流行のデザインの外クラシックな型による流行に左右されないモチーフもあります。特別なものは、マクラメー（オリエンタルなレース技術の一つ）と化学レースです。これらは、個々の刺繍原版から剥奪して手巻きし繋げるという手間の掛かる手法です。この手法から更なる加工によりチュールタイプやゲオルゲッテレースや材料としての刺繍、レースがあります。衣料関係では、女性用の服へのレースのアクセサリーや寝具やランジェリーに提供しています。

## 商標権の保護

国際的に保護された商標 Plauener Spitze® は、スタンダードな高品質を維持するためプラウエン地域でのみ開発され製造されただけでなく、この商標は、125年の歴史の刺繍のノウハウ並びに手工の芸術を保証でもあります。ライセンス無しで他の製造者の刺繍製品は、この商標を使用またはこの商標との関係を表示してはなりません。詳細は、[www.Plauener-Spitze-R.de](http://www.Plauener-Spitze-R.de) に載っています。もちろんこの商標は、日本でも保護されております。

### 躍進の重要な段階

百年以上前にプラウエンと近郊のフォークトランド地区は、刺繍の地域としてまたとない織物の伝統を刻みました。Plauener Spitze® は、昔からドイツのみならず外国でも有名でありました。

### 歴史

- 1780 刺繍産業は、刺繍工芸の形でフォークトランド地域に現れた。繊維商人が上質な東インドの布を刺繍させるために持ち込んだ。
- 1810 以降 縫い針を用いた刺繍が広がった。
- 1828 フォークトランド地域のプラウエンとその広範囲で 2000 人以上が刺繍に従事していた。刺繍が新しい収入源になった。
- 1836 刺繍されたモスリンとバティスト（上等白麻の平織りの薄地の織布）の需要が増え対応するため、まず刺繍機械の導入を始めた。
- 1858 プラウエンの会社 Schnorr と Steinhäuser が二台の機能的な刺繍機械を導入した。このことによりプラウエンに刺繍と白い綿製品の産業革命が起こり、刺繍産業の礎石となった。
- 1872 生産能力が5年間の内に爆発的に拡大し、プラウエンには、刺繍会社 239 と刺繍機械 907 に増加した。
- 1881 プラウエンのアントン ファルケにより技術革新の刺繍機械によるチュール刺繍に成功した。これが後の『プラウエンレース』として広まった。
- 1883 プラウエンでタッティング機械が導入された。これにより最初のエッチング刺繍が成功した。
- 1889 エッチング刺繍が発達し、工場主テオドルビッケルの影響によりチュール刺繍と共に『プラウエンレース』の名を世界中に広めた。
- 1900 パリにおける世界博覧会でプラウエンレースがグランプリを受賞した。
- 1912 プラウエンレースが全盛期を迎える。総数 16,000 の刺繍機械が作動し、プラウエンの人口が 12 万 8 千 14 名となった。